

新春の箱根と言えば駅伝！ 30分×10回のギャラリートークを学芸員がタスキでつなぐ！

ポーラ美術館、「第2回ギャラリートーク駅伝」を1月12日(日)に開催

参加回数に応じて豪華ミュージアムグッズをプレゼント！

ポーラ美術館（神奈川県、箱根）は、学芸員による30分のギャラリートークを10回連続で行う「第2回ギャラリートーク駅伝」を、2014年1月12日（日）の10時から16時まで（12時半～13時半を除く）開催します。「ギャラリートーク駅伝」は、2013年1月に初めて開催され、延べ約300人の方にご参加いただいた人気企画で、今回で2回目の開催になります。

今回は、企画展「ルノワール礼讃—ルノワールと20世紀の画家たち」や特集展示「いろどる線とかたどる色—ドガのパステル、シャガールの水彩、マティスの『ジャズ』」など、開催している全ての展覧会の中から、ルノワールやシャガールなど代表的な作家の作品を解説します。当日は、10時から16時まで（12時半～13時半を除く）を10区間に分け、全6名の学芸員がタスキをつなぎながら美術館全体をめぐるります。

前回同様、当日はどの回からでも参加することができ、区間ごとに押されるスタンプが所定の個数に達した段階で、個数に応じたグッズをプレゼントします。スタンプ3個で「ポーラ美術館オリジナルめがねふき」（税込570円相当）、7個で「ポーラ美術館オリジナルキャンバスバック」（税込1,575円相当、3種のデザインから選択）をプレゼント。スタンプを10個すべて集めると、「ルノワール礼讃」展図録とポーラ美術館ペアチケットのセット（税込5,500円相当）をプレゼントします。また、各ギャラリートークにご参加いただく度に、お聴きになったトークに関する作品のポストカードを1枚プレゼントします。

ふらりとトークに立ち止まる、聴きたい作家の回にのみ参加する、スタンプ10個を目指すなど楽しみ方は自由です。合計5時間に及ぶ「ギャラリートーク駅伝」に是非ご参加ください！



前回の「ギャラリートーク駅伝」の様子



展覧会図録やキャンバスバックなどオリジナルグッズをプレゼント！

— 「第2回ギャラリートーク駅伝」概要 —

【日時】2014年1月12日（日）10:00～16:00

【スケジュール】

	時間	区間	テーマ	場所
	9:50～	開場		講堂
往 路	10:00～	第1区（スタート）	ピエール・オーギュスト・ルノワール①	展示室1
	10:30～	第2区	梅原龍三郎	展示室1
	11:00～	第3区	マルク・シャガール	展示室2
	11:30～	第4区	アンリ・マティス	展示室2
	12:00～	第5区	レオナルド・フジタ（藤田嗣治）	展示室3
(12:30～13:30 昼休み)				
復 路	13:30～	第6区	エドガー・ドガ	展示室2
	14:00～	第7区	エミール・ガレ	展示室4・5
	14:30～	第8区（給水）	ポーラ美術館の建築と箱根の自然	講堂
	15:00～	第9区	パブロ・ピカソ	展示室1
	15:30～	第10区（ゴール）	ピエール・オーギュスト・ルノワール②	展示室1

【賞品】所定のスタンプ数に達した段階で下記の賞品をプレゼントします。

- ・スタンプ3個：ポーラ美術館オリジナルめがねふき（税込570円相当）
- ・スタンプ7個：ポーラ美術館オリジナルキャンバスバック（税込1,575円相当）
※ルノワール《髪かざり》、ルノワール《アネモネ》、マティス《イカロス》からデザインを選べます。
- ・スタンプ10個：「ルノワール礼讃」展図録、ポーラ美術館ペアチケットのセット
（税込5,500円相当）

※各ギャラリートークにご参加いただく度に、お聴きになったトークに関する作品のポストカードを1枚、プレゼントします。

【定員】各回先着30名

【参加費】無料（ただし当日の入館券が必要）

【一般の方のお問い合わせ先】ポーラ美術館 TEL：0460-84-2111

— 報道（広報写真・取材等）に関するお問合せ先 —

ポーラ美術館 広報事務局（共同PR内）：増田、後藤、三井

TEL 03-3575-9823 / FAX 03-3574-0316 / メール s-masuda@kyodo-pr.co.jp

【開催中の展覧会について】

<展示室 1>

企画展「ルノワール礼讃—ルノワールと 20 世紀の画家たち」

ルノワール作品 14 点を、「花」「女性像」「裸婦」「南フランスと地中海」の 4 つのセクションに分けて、その芸術の特徴と魅力を再考するとともに、パブロ・ピカソや梅原龍三郎など、ルノワールの影響を受けた同時代の西洋および日本の作家の作品をあわせた計 52 点の作品を展示。芸術上の影響関係や画家同士の交流に光を当て、20 世紀前半における「ルノワール礼讃」の様相を探ります。



ピエール・オーギュスト・ルノワール《髪かざり》1888 年

<展示室 2>

特集展示「いろどる線とかたどる色—ドガのパステル、シャガールの水彩、マティスの『ジャズ』」

西洋の絵画における素材や技法には、代表的な油彩のほかにもパステルや水彩などがあり、画家たちはそれらの持ち味を生かして色や形をつくっています。1940 年前後に油彩画から離れ、様々な技法に挑戦しつつ、切り紙絵にもとづく挿絵本『ジャズ』へと至るアンリ・マティスを中心に、19 世紀後半のマネやドガによるパステルから、20 世紀のシャガールとデュフィによる水彩、グワッシュの作品を通して、多彩な素材からみる絵画の楽しみをご紹介します。



アンリ・マティス『ジャズ』より《サーカス》(第 2 図)
1947 年発行 ステンシルノ紙

<展示室 3>

常設展示「ポーラ美術館の絵画 日本画、日本の洋画を中心に」

徳岡神泉や岡田三郎助、レオナルド・フジタ（藤田嗣治）などポーラ美術館が収蔵する日本画や日本の洋画をご紹介します。

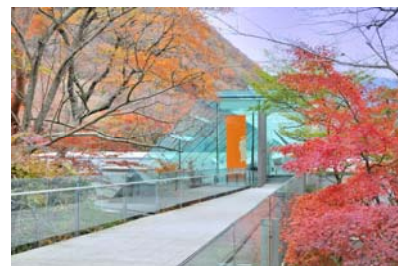
<展示室 4、5>

常設展示「ポーラ美術館ガラス工芸名作選」

エミール・ガレをはじめとする、アール・ヌーヴォー期を代表する作家によるガラス工芸の名品をご紹介します。

<ポーラ美術館について>

ポーラ美術館のコレクションは、ポーラ・オルビスグループのオーナーであった鈴木常司（1930～2000）が 40 年以上にわたり収集したコレクションです。そのコレクションは印象派を中心とした西洋絵画、日本の洋画、日本画、東洋陶磁、古今東西の化粧道具など 9,500 点を数えます。建物は「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに、周囲の環境との調和をはかり、建物の大部分を地下に置いて、森の風景の中に溶け込むような形にしています。



【住 所】〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

【電 話】0460-84-2111

【開館時間】9:00～17:00（入館は 16:30 まで）

【休 館 日】年中無休（展示替のため臨時休館あり）

【入 館 料】※料金はいずれも個人料金、消費税込み ※中・小学生は土曜日、入館無料

大人 1,800 円、シニア割引(65 歳以上)1,600 円、大学・高校生 1,300 円、中・小学生 700 円

【ホームページ】<http://www.polamuseum.or.jp>